

プレミアム率
50%

プレミアム付商品券「いせはら得チケ」の購入申込を開始

物価高騰などの影響を受けている市民への支援や地域の店舗を応援するため、5000円で7500円分の買い物ができる伊勢原市プレミアム付商品券「いせはら得チケ」を販売します。商品券が使えるお店など、詳しくは新聞折込や商工会などで配布するチラシか、市HPをご確認ください。今回の商品券は申込制です※申込多数の場合は抽選

対象 市内在住の人

販売価格 1セット5000円(額面7500円分)※購入は1人2セットまで

発行部数 4万5000セット

申し込み 市HPから電子申請、またはチラシに



付いている専用ハガキに必要事項を記入のうえ郵送※申請内容に不備や誤りがあった場合は申請が無効になる場合があります

締め切り 4月30日(木)

引き換え方法 5月中旬ごろに送付される購入引換券を、5月27日(水)以降に申込時に選択した引換購入場所で引き換え※抽選の場合は当選者のみ

使用期間 6月1日(月)～8月31日(月)

チラシの配架場所	
市役所1階ロビー	商工会
市役所駅窓口センター	観光協会
公民館(大山、成瀬、高部屋、伊勢原南、中央、比々多、大田)	中栄信用金庫伊勢原支店 中栄信用金庫伊勢原南口支店 中栄信用金庫愛甲石田支店
コミュニティセンター(成瀬、伊勢原北、伊勢原南)	中南信用金庫伊勢原支店 中南信用金庫高森支店
子育て支援センター	平塚信用金庫伊勢原支店

☎商工会 ☎95-3233

☎商工観光課 ☎94-4732

クラウドファンディングを始めます

特定の事業と目的を共有した上で寄付を募る、ふるさと納税型のクラウドファンディングを実施します。市内在住の人も寄付金控除が受けられます。

今回は、市内の小学校5年生全員を対象に実施する、県を代表するオーケストラである「神奈川フィルハーモニー管弦楽団」による演奏会の開催を目的に寄付を募集します。

未来を担う子どもたちに、本物の音楽の魅力や文化芸術の素晴らしさを届ける取り組みにご支援ください。

使い道 子どもたちの音楽鑑賞に要する経費

目標金額 100万円

寄付方法 ふるさと納税ポータルサイト「ふるさとチョイス」から

募集期限 6月30日(火)

☎教育指導課 ☎74-5243(事業に関すること)

☎発想フルリン課 ☎95-4447(ふるさと納税に関すること)



ふるさとチョイス

令和8年度施政方針 未来を見据えた持続可能なまちづくりを

萩原市長は、市議会3月定例会初日の2月17日、令和8年度の市政運営の基本的な考え方や、重点的に取り組む施策などを示す「施政方針演説」を行いました。その概要をお知らせします。



我が国の経済は緩やかな回復基調にある中、本市を取り巻く環境は大きく変わろうとしています。新東名高速道路のインターチェンジの開通により、交通アクセスが飛躍的な向上を遂げ、伊勢原大山インターチェンジ周辺において産業拠点整備が進められています。

さらには、小田急電鉄株式会社の総合車両所建設計画の進捗や、都市計画道路田中笠窪線の整備が進むなど、本市の持続的な発展に向けた都市基盤の整備が一步一步確実に進んでいます。

令和8年度は、本市が将来にわたり持続的に発展していくための重要な転換期となりますので、これまで培ってきた歴史と文化を大切にしつつ、新たな時代の潮流を捉え、未来を見据えた持続可能なまちづくりを強力に推進していく必要があるものと考えています。全ての市

民が安心して住み続けることができるように、また、選ばれるまちとなるように、直面する諸課題に適切に対応し、未来へ向けた投資的な事業を計画的に展開しつつ、持続的な行政サービスを提供してまいります。

令和8年度当初予算は、「経営的な視点から事務事業の見直しに取り組み、未来へつなぐ予算」を基本的な方針として編成しました。

第一に、未来の経営資源となる都市基盤整備を図り、市民の皆様の安心・安全で豊かな都市生活の実現と、都市経済の活性化などを推進するとともに、必要な行政サービスの継続性を確保し、一歩ずつ、着実に事業の充実を図ることを基本としました。

その上で、次代を担う子どもたちを安心して産み育てることができる環境の充実や、課題が山積する教育環境への対応として、小・中学校への空調整備に計画的に取り組むとともに、いわゆる小学校給食の無償化や不登校対策の強化に加え、妊婦健康診査費用の助成額を拡充するなど、ハードとソフトの両面から取り組みを進めていくこととしました。

また、引き続き、行政改革やICT化の推進など、事務事業の節減・効率化を図り、持続可能な都市経営の実現に向けて、未来への道筋をつけるための予算の編成に取り組んだところです。

令和8年度 of 主な取り組み

子育て支援として、「妊産婦健康診査」に係る費用の助成額を拡充するとともに、出産後の母子に対して心身のケアや育児サポートを行い、産後も安心して子育てができるよう支援するほか、子育てしやすい環境づくりに向け、引き続き紙おむつなどの支給を行います。また、直接的な保育士確保策として、保育士に対して奨学金返済の補助を行います。

学校教育および教育環境整備として、小・中学校の不登校の児童生徒やその保護者に向け、支援情報の提供や語り合える場づくりを行います。また、良好な学習環境を整備するとともに災害時の避難所機能の向上を図るため、小学校3校と中学校4校における体育館空調設備整備工事の設計に取り組みます。さらに、小学校給食費の抜本的な負担軽減、「いわゆる給食無償化」を実施します。

健康づくりとして、若年のがん患者に在宅生活に必要な経費の一部を補助し、患者とその家族の負担軽減を図り、住み慣れた自宅で最後まで安心して自分らしい生活が送れるよう支援します。

産業・環境分野として、スマート農業などの導入支援を行うほか、住宅への太陽光発電設備や蓄電池の導入費用の一部を補助するとともに、住宅の省エネルギー性能の向上を促すため、ネット・ゼロ・エネルギーハウス(ZEH)および断熱窓改修費用の一部を補助します。

新たな土地利用としては、三ノ宮中初川周辺地区における産業系市街地の創出に向けた調査・検討を進めるとともに、総合車両所建設計画を契機とした、新たな地域拠点の創出に向けたまちづくりの調査・検討を進めます。また、小田急電鉄株式会社が進める総合車両所の移転計画地周辺において、地域の向上に資する機能補償のための地域基盤施設整備に取り組みます。

伊勢原駅北口市街地の再開発事業においては、再開発組合の設立に向けて事業計画の精査・立案に取り組むとともに、都市計画道路伊勢原駅前線の新たな用地先行取得を進めます。

都市計画道路田中笠窪線の整備については、計画的に進めるほか、地域公共交通計画に基づき、公共交通空白地区などにおける移動環境支援の取り組みを進めます。

また、安定的な経営体質へ転換するため、個人向けふるさと納税や企業版ふるさと納税をはじめとして積極的に税外収入の確保を図るほか、クラウドファンディングなどの新たな財源の確保に取り組みます。

変化の激しい時代、先行きの見えない時代の中にあって、職員のさらなるコスト意識の向上や、稼ぐことに対する意識の醸成に努め、「市政経営」を進めてまいります。